

# 議会だより

No. 107  
2020.2.1 発行

## もろやま

MOROYAMA ASSEMBLY NEWS



### 表紙の作品

第27回毛呂山町フォトグランプリより

題名 『花より…』

「子ども達の笑い声が

いつまでも世界中で響きますように。」

撮影者 水守 栄美さん

撮影場所 長瀬

2P 議長年頭あいさつ

3P 台風19号復興補正予算5,883万円

4P 12月議会ではこんな事が決まりました

7～13P 一般質問13人が登壇

発行／毛呂山町議会 編集／毛呂山町議会だより編集委員会

〒350 - 0493 埼玉県入間郡毛呂山町中央2丁目1番地

☎049-295-2112

バックナンバーはこちらです⇒



○議会だよりは議員の自主編集により発行しています。



# 本年もよろしくお願ひします



## 年頭あいさつ



議長 衛 瀬 長

明けましておめでとうござい  
ます。

町民皆様におかれましては、  
ご家族お揃いで希望に満ちた輝  
かしい新年をお迎えのことと心  
からお慶び申し上げます。

また、日頃より議会運営に対  
し、ご理解とご支援を賜り深く  
感謝いたします。

さて、昨年は激動の1年でし  
た。

5月に新天皇が即位され、令和  
という新たな時代が始まり、人  
口減少・少子高齢社会に対応す  
るための財源対策として消費増  
税も実施されました。

また、10月の台風19号による  
記録的な豪雨は、本町にも大き

な被害をもたらし、国や自治体  
が対策の見直しを迫られる激甚  
災害となりました。

さまざまな自然災害に対する  
確固たる防災計画とともに、全て  
の団塊世代が後期高齢者となる  
2025年を目前に地域力の強  
化策や社会保障面の充実は待っ  
たなしであります。

一方、夏の東京オリンピック  
では本町出身の瀬戸大也選手を  
はじめ日本人選手の活躍に期待  
が高まります。

今後とも、多様化する社会の  
変化に対応し、全議員が切磋琢  
磨し、皆様の代弁者としての職  
責を果たしながら町政の進展に  
寄与してまいります。

町民皆様のご指導とご協力を  
宜しくお願ひ申し上げます。



# 12月 議会定例会

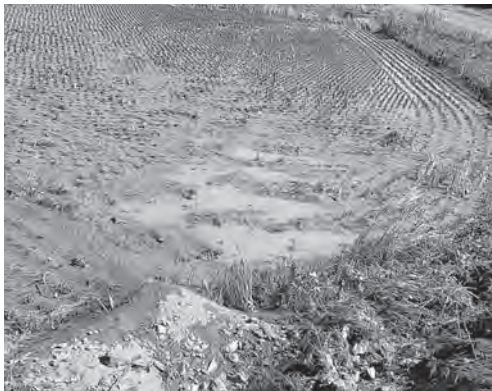
令和元年12月定例会は、12月2日から6日までの会期で開催されました。

今議会に提案されました案件は条例の一部改正5件、補正予算2件、人事2件、発議1件、合計10件が上程され慎重なる審議を致しました。なお、一般質問は13名が登壇し、活発な質問が展開されました。

## 令和元年度毛呂山町一般会計補正予算

歳入歳出予算の総額にそれぞれ5,335万5,000円を追加し、歳入歳出予算の総額それぞれ102億1,012万3,000円としました。10月の台風19号により毛呂山町も甚大な被害を被り、災害復旧費として5,883万2,000円の補正予算が計上されました。

単位：万円未満切捨て



泉耕地災害復旧工事 173万円  
(岩井地内)



西戸耕地災害復旧工事 589万円  
(西戸地内)



久保堰災害復旧工事 4,251万円  
(岩井地内)



西戸堰災害復旧工事 115万円  
(西戸地内)



苦林・大類堰災害復旧工事 94万円  
(川角地内)



防護柵災害復旧工事 106万円  
(苦林地内)

台風19号災害復旧費に  
5,883万2千円の補正!!



# 特別職・議員・職員の報酬等の 引き上げに関する条例は可決されました。

要旨・毛呂山町特別職報酬等審議会の答申に基づき議会の議員、町長及び副町長の期末手当並びに毛呂山町教育委員会教育長の期末手当について、年間支給率をそれぞれ0・05月引き上げました。

また、国家公務員に対する人事院勧告及び県職員に対する埼玉県人事院勧告がなされ、これに準じて町職員の給料及び勤勉手当を改定し若年層に重点を置いた行政職給料表0・16%引き上げると共に勤勉手当を0・05月分増額し、令和元年度においては、引き上げ分を12月期の期末手当で調整し、令和2年度以降は6月期及び12月期の支給分に再配分することです。



## 【職員の給与】

職務の級	給料月額引き上げ額
1級 主事補	0円～2,000円
2級 主事	0円～1,500円
3級 主任	0円～1,500円
4級 係長・主査	0円～1,200円
5級 主幹	0円～800円
6級 副課長	0円
7級 課長	0円

## 【議員の手当】

区分	年間引き上げ額
議長	18,285円
副議長	14,950円
議員	14,030円

## 【町長・副町長・ 教育長の手当】

区分	年間引き上げ額
町長	42,493円
副町長	36,225円
教育長	34,500円

# 印鑑条例・手数料条例の改正によりコンビニで 住民票、印鑑証明書等が取得できるよう になりました。

令和2年3月2日(月)から全国のコンビニで住民票(写)等の取得が可能になります。

町内はもちろん、全国のコンビニに設置されているマルチコピー機で、「マイナンバーカード」を使い、住民票(写)、印鑑登録証明書、所得(非)課税証明書が取得できるようになります。

役場の窓口に向かず最寄りのコンビニで証明書が取得できますのでご利用ください。

手数料 各200円

利用時間 6時30分～23時

(土日祝日も可)

取得できない日

年末年始(12月29日～1月3日)  
及び保守点検日(不定期)

このコンビニ交付事業については国からの特別交付税の財政措置がされます。

コンビニ交付を利用するには  
マイナンバーカードの発行が必須です。  
まずは、住民課窓口等でカードを発行しましょう。



## 〈地方公務員法の改正により区長の身分が変更〉

平成29年5月に地方公務員法が改正され、非常勤特別職の任用の厳格化が図られました。これにより非常勤特別職の範囲が「専門的な知識経験等に基づき、助言、調査を行う者」に限定されることになり、4月より区長はその対象外となるため、身分が変更されます。 ※区長の業務については現行と変更ありません。

令和2年4月1日以降の区長について	
区長の委嘱	これまでと同様に、区民の総意により推薦された者を町長が委嘱します。
区長の業務	これまでと同様に、「毛呂山町区及び区長設置規程」に基づき広報誌の配布等を行っていただきます。
手 当	区長に謝礼金(報償費)を支払います。ただし、手当の算出方法に変更はありません。

Q 議員は区長ができるか

A 問題ない

Q 区長は選挙運動することができるか

A 問題ない

## 〈厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書の提出〉

☆賛成多数で可決 <提出者> 千葉三津子 <賛成者> 下田泰章・澤田 巖・平野 隆

地方分権時代を迎えた今日、地方公共団体の自由度が拡大し、自主性及び自立性の高まりが求められる中、住民の代表機関である地方議会の果たすべき役割と責任が格段に重くなっている。

このため、地方議会議員の活動も幅広い分野に及ぶとともに、より積極的な活動が求められている。

しかしながら、本年実施された統一地方選挙において、町村では議員への立候補者が減少し、無投票当選が増加するなど、住民の関心の低下や地方議会議員のなり手不足が大きな問題となっている。

こうした中、地方議会議員が厚生年金に加入できるようになれば、民間会社の社員等が議員に転身しても切れ目なく厚生年金の適用を受けることができ、老後や家族を心配することなく選挙に立候補できる環境が整うことになり、議員を志す新たな人材確保につながっていくと考える。

よって、国民の幅広い政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金制度加入のための法整備を早急に実現するよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

埼玉県毛呂山町議会

提出先 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 内閣官房長官  
財務大臣 総務大臣 厚生労働大臣



岡野 勉 議員

### 賛成討論

現在、全国で約6割の議会が「当意見書」を議決。

正直、議員の仕事は有用と実感している。町村議員の「生活・老後は厳しい」の一言に尽きる。とても後継にやってくれ!とは言えない。

現に町村議会では「無投票当選」が増加し、追い打ちをかけて議員定数が削減。このままでは「民意」が議会に反映されない。

# 行政視察レポート

総務文教常任委員会、生活福祉常任委員会が合同で先進自治体の取り組みを調査しました。(令和元年11月6、7日)

## 起業家を目指す市民のための創業支援事業(茨城県 取手市)

取手市では、平成27年に起業希望者を支援する社団法人を設立し、ワンストップで起業者を支援するとともに、レンタルオフィス事業による収入等により、自立した運営を行っています。創業支援事業は、内閣府の地方創生交付金を活用し、起業希望者が目的達成のため努力し、自立運営することが目的であり、小規模でも趣味、特技を生かした女性(主婦)の起業家の進出並びに支援にも期待し、市の発展と起業家の繁栄を願い本取組にワンチームで望んでいました。



## タブレット端末の導入及び公共無線LAN・取り組みについて(茨城県 美浦村)



美浦村議会は、平成25年6月に全議員にタブレット端末を貸与し、タブレット端末利用促進検討委員会にてタブレット端末の活用方法を協議しました。導入から1年間は毎月勉強会を開催し、平成26年6月の本会議からタブレット端末を導入(紙との併用運用)。平成27年6月の本会議からは紙配布を全廃し、完全ペーパーレス化を実施しました。現在は、議員、特別職、各部長及び各課長に併せて66台のタブレット端末を配備しています。また、公共施設に無線LANを設置し、情報化を推進しています。

## クラウド型アプリケーション「介護健診ネットワークシステム」開発(茨城県 笠間市)

笠間市は、平成24年2月に「健康都市かさま宣言」を行い、保健、医療、健康づくりを中心とした地域資源を最大限に活用した総合的な街づくりを推進しています。高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるようにサポートするため、地域包括ケアシステムを進め、要介護者の情報を介護事業者や医療、救急隊等で情報共有するシステムを構築しました。多職種間連携により介護事業者等の業務効率化や介護サービスの充実を図っています。



## 議案の審議結果 (12月定例会)

○は賛成 ×は反対 討は討論 議は議長

議 案		議 員 名													審議結果	
		神山和之	下田泰章	平野隆	澤田巖	牧瀬明	佐藤秀樹	荒木かおる	千葉三津子	村田忠次郎	岡野勉	小峰明雄	高橋達夫	堀江快治	長瀬衛	
条例の一部改正	議会議員の報酬・費用弁償等条例	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×	○	○	議	原案可決
	町長・副町長・教育長の給与等条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	議	原案可決
	職員の給与条例、印鑑条例、手数料条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
一般会計補正予算、水道事業会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
監査委員の選任、教育委員会教育長の任命		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	同意
議員発議	厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書の提出	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	議	原案可決



# 町政を問う!

一般質問  
~13名が登壇~

● 毛呂山町の小中一貫教育(校) 岡野 勉

● 防災  
● 教育・子育て環境の充実  
● 高齢者福祉 小峰 明雄

● 苦林浄水場施設の今後  
● 台風災害後の行政の対応 千葉三津子

● 台風19号による被害状況と今後の対策  
● 避難所に係る町の防災対策  
● 庁舎北口入口のバリアフリー化  
● 新生児聴覚スクリーニング検査 荒木かおる

● 自殺対策  
● 成年後見人制度 澤田 巖

● 防災  
● 防犯 平野 隆

● 次年度の施政方針  
● 公共施設の再利用 佐藤 秀樹

● 台風19号による被害 牧瀬 明

● 第五次総合振興計画後期基本計画とスマートシティ事業  
● 川角駅周辺地区整備事業  
● 町道改良工事計画 堀江 快治

● 台風19号による災害対応における問題点と検証等  
● 災害に強いまちづくりを推進するための今後の災害対策実施に向けた施策  
● 道路冠水 神山 和之

● 毛呂山の発展に直結する幹線道路整備の陳情は早急に進めて頂きたい  
● 散歩などをする未就学児等を守る「キッズゾーン」を早期に導入して頂きたい  
● 毛呂山町の納税率 村田忠次郎

● 川角駅地区周辺整備事業  
● 町道整備 高橋 達夫

● 10年後の毛呂山町。私たちの町はどう変化していくのか  
● 台風19号の被害を受けて学んだ課題とは 下田 泰章

## 小学校4校が「学校統廃合」!

### 住民説明会は必要ない!と思う



岡野 勉

**問** 昨日、議会に毛呂山町公共施設個別施設計画・再配置の基本的な方針が提示された。

まず、第一期10年間(令和2年~11年)の令和8年度に川角

中学校区、令和10年度に毛呂山中学校区へと集約化を目指す。とあるが「施設一体型」ということは①毛呂山中に毛呂山小、泉野小を統合。②川角中に川角小、光山小を統合するのか。これは明確な学校統廃合だ。中学校2校は残るが小学校4校は廃校になるのか。

**答** 町は「小中一貫教育」を最大に発揮する学校施設は「小中

一貫校である」と考えており、提示した年度から中学校区2校の小中一貫校をスタートする。

早急に、4小学校区で住民説明会の開催を!

**問** 中学校区2校の小中一貫校とは「川角小・光山小・泉野小」は廃校なのか(毛呂山小は一体型に近い)。はつきりと答えるべきだ。

なお、これまで2回学校施設に關しアンケートを取っているが「住民の民意」が活かされていない。直近の後期・総合振興計画でも住民意向調査によると「最優先に、残すべき公共施設

に学校施設」が1番で何と64・4%だった。

町は「学区の変更、学校の統廃合など施設整備の教育環境を大きく変える場合には、住民への説明が必要である」と何度となく答弁された。今度こそ実施を! 「パブリックコメント」・「講演会」で説明責任を逃げてはいけない。

**答** 「住民説明の必要はない」と思っている。現在、住民や多方面の方々には協力を得ている。ぜひ、学校を見に来てほしい。



学校統廃合の必要性はない。小学校4校の存続を!

## 来年度の高齢者の生きがい・介護予防事業等は

### 各種事業に取り組んで参ります



小峰 明雄

する、健康いきがづくり事業は、医療・介護連携推進事業などと協力しながら実施し、老人福祉センター山根荘と相互に連携しながら、努めて参ります。

**問** 令和2年度当初予算編成、高齢者の生きがいづくり・生活支援・介護予防事業等の施策は。

**答** 来年度以降も、くらしワンストップもろハピネス館が実施

**問** 台風19号、職員・水防団員の皆様には、深夜まで地域住民の安全を守る為に、業務に携わりました事に、心から感謝を申し上げます。地域防災計画第3章第1節の迅速な災害復旧とは。

**答** 財政支援措置が受けられるよう申請手続を進めている。

**問** 台風19号の際、避難所等における情報伝達体制、ご所見は。

**答** 一部の避難所から災害の情報取得が難しいとの指摘があった。

**問** 令和2年度当初予算編成、幼児教育・義務教育の施策は。

**答** コミュニティ・スクールを更に推進させる為、教育環境整備を図って参る予定。第3期教育振興基本計画を策定する経費を計上予定。小中一貫教育のモデル校を指定し、教育内容の充実を図って参る予定。

**問** 令和2年度当初予算編成、

特色のある少子化対策・子育て支援対策の重要施策は。

**答** かねてから議員からも提言をいただいております。第3子出産祝金支給事業を見直して、新たな支援金を支給事業を実施予定。先天性風しん症候群の発生予防に努め、おたふく・子どもインフルエンザと共に費用の一部助成を継続実施。

**問** 本町の特色ある予防接種事業を、移住・定住総合ポータルサイトにて啓発は。

**答** まちの魅力を積極的に発信していきたいと考える。

## 自然災害に強い浄水場施設の構築を

### 強靭な水道施設の構築に努める



千葉三津子

れた。温暖化の影響で水災害は今後益々深刻化する。浄水場の今後の整備対応を伺う。

**問** 苦林浄水場は10月12日に発生した台風19号で冠水し節水のお願いが防災無線で発令された。水防団のポンプくみ上げ作業により機械までの影響は寸前で免

**答** 全国にある水道施設の多くは、施設の特性上、河川の沿川に立地して浸水被害を受けやすい施設である。地震や自然災害に対して被害を最小限に抑えられる強靭な施設の構築が急務。来年度予算に反映させる。

**問** 国や県から助成等の連絡は

**答** 塩素系漂白剤はどの位の割合

入ったか。

**答** 厚労省健康局水道課より浸水対策は国庫補助金を検討しているとの連絡が入った。

**意見** 水道は住民生活に必要不可欠なライフラインとして地域の皆様の生命と暮らしを守る極めて重要な役割。早急な対策を。

**台風災害後の行政の対応**

**問** 家屋の床下・床上浸水被害で被災された世帯の対応を伺う。

**答** 各種税の免税・徴収猶予・各種保険料の減免・水道料金の減免・消毒薬の配布等回覧、ホームページで周知した。

合いで配布したのか。

**答** 被害世帯に一本ずつ配布を行い追加配布も行った。

**問** 応急修理の対象となる世帯に対する制度とは。

**答** 住宅が大規模半壊、半壊、準半壊以上の一部損壊を受け自己資金での修理が困難な方・世帯に限る。

**問** 災害見舞金の支給とあるが、支給の範囲は。

**答** 町の災害見舞金等支給要綱などにに基づき、床上浸水住居に3万円を支給。



生命と暮らしを守る重要な施設



健康長寿のまちづくりを更に推進を



## 課題が明らかになった避難所運営 今後は

避難所運営ゲーム

### 【答】HUGを活用し整備して参ります

がいかか。



荒木かおる

【問】ペットとの同行避難については動物愛護や、被災者の心のケアの観点からも重要とされている。今後は各避難所のペット専用スペース設置等について協議を進め周知を行う。

【問】ペットは家族の一員であり、ペットを置いて避難は出来ないと車の中で過ごされた方がいらつしやつた。ペットとの避難について取り決めが必要と考える

【問】現在、避難所としての学校利用計画を策定している学校数は全国の51・3%とのこと。本町は策定されているか。

【答】現在未策定。学校施設利用計画は学校施設に避難した住民の誘導や学校施設活用のため、災害時に校舎、屋内運動場、校庭等をどのように利用するかを定める計画。今後、策定に向け教育委員会と協議する。

【問】避難所運営で様々な課題があった。過去にも提案をしたHUGを活用すべきと思うがいかか。

【答】11月30日に自主防災組織リーダー研修講座において活用した。避難所運営に活用すべき。

【問】障害者の方にとって庁舎駐車場からの入口は北口も西口も

不自由。北口のバリアフリー化、若しくは西口スロープに屋根を設置の考えは。

【答】引き続き、障害者や車いすの方々が安心安全に来庁できるように必要な整備改修等を検討する。

【問】以前質問をした新生児聴覚スクリーニング検査の助成について10月に県より各市町村あてに公費助成について意向調査があつたこと。本町ではどのような回答をしたか。

【答】公費助成について前向きに検討する意向で回答した。

## 市民後見人制度は今後重要である

### 【答】制度の環境整備に努めていく



澤田 巖

病気や認知症、死亡した場合我が子を支援することが出来なくなった時、誰が子供を支援してくれるのかといった心配は年を重ねるごとに増してくるはず。このようなケースを少しでも解決しようと来年度からスタートする市民後見人制度に期待するが進捗状況はどうか。

【答】平成30年度に社会福祉協議会と共同策定した「地域福祉計

画・地域福祉活動計画」では令和2年度より実施予定としており、町民ニーズを見据えながら現在関係各課や町社会福祉協議会と協議を進めており早期実現を目指している段階である。

【問】司法書士や弁護士など有資格者なるのが成年後見人、一般市民が研修を受けるなどして知識を得る制度が市民後見人。市民後見人については専門的な対応は難しいと思うが。

【答】市民後見人は社会貢献への意欲が高く成年後見に関する一定の知識や態度を身に付けた方に地域住民という立場を活かし

多額の財産管理を要しないなどの難易度の低い事業を中心とした後見活動を行っていたことが期待されている。

#### 自殺対策について

【問】5ヶ年計画で実施する『いのちまもろー計画』幼児期に命の大切さを教えることが重要だと考えるが。

【答】教育委員会では「いのちの教育」として自分の命だけではなく他人や動植物の命の尊さを学ぶことで命に関する課題対応できる子ども達の育成に努めている。

不安  
解消

財産  
管理

契約  
手続き

高齢化・認知症 預貯金・不動産 介護サービス 施設入所など 障害者



市民後見人制度は必要不可欠！



HUGを活用し、避難所の運営を円滑に

## 台風19号による被害状況は

### 【答】床上浸水13件、床下浸水26件、一部損壊7件など



平野 隆

**問** 毎年のように災害が起きている現在、当町に於いても9・11の集中豪雨と雷による停電や台風19号による雨の被害がありました。当町の主な被害状況は。

**答** 9・11の雷による被害では武州長瀬駅で自由通路の停電やエレベーターの浸水による故障の他、中央陸橋の道路照明の故障、中央公民館で電話回線の故障、水道施設の停電による給水停止などが発生した。また、台風19号では道路冠水による通行止め、強風による倒木、山間部での土砂崩れ、床上床下浸水は一部損壊を含め46件。西戸グラ

ウンドの冠水、苦林浄水場の水害など、河川の越水が多数発生し、農地の冠水による作物被害も同時に発生した。

**問** 町の対応は。

**答** 町防犯体制としては防犯ボランティアゆずを中心にして小学校の通学路のパトロールをしている。地域では自主防犯団体を中心に防犯パトロールを実施している。また、地域安全推進連絡協議会では駅前を中心に年6回程度の啓発活動を実施している。町では警察・消防・区長会との間で犯罪情報の住民提供に関する協定を締結し、注意喚起を行っている。

**問** 災害対策本部を設置し、多数の問い合わせの対応及び情報収集、関係機関への連絡、水防団の出勤要請、避難情報の伝達、避難所の設置、巡視及び現地対応、避難要支援者の安否確認等を行った。

**問** 防犯について

**答** 都市部では防犯カメラの設置が進んでいるが、防犯カメラの少ない当町では町としての



なんと！長瀬地区でも越水(大谷木川)

## 川角駅周辺整備はいつから？

### 【答】令和2年度の着工を目指します



佐藤 秀樹

**問** 次年度の重要施策は。

**答** 川角駅周辺整備事業、自主防災組織の育成及び強化、一般介護予防事業の推進、地場産業の育成支援、小中一貫教育の推

進等であります。

**問** 中心市街地を今後どの様に考え、そこに対し、次年度はどのような計画を立てているのか。

**答** コンパクトでまとまりのある集約型の市街地形成を目指し、その中で次年度は、延焼防止上危険な建物は、除却、建替えを促進し、不燃化建物への誘導を図る施策を第一団地から実施して参ります。

**問** 武州長瀬駅周辺の歩道整備対策は今後どうしていくのか。

**答** 危険な個所は適切な対策を実施し安全の確保に努めます。

**問** 次年度から進めるスマートシティ構想の進捗状況は。

**答** 現在スマートシティ実行計画を策定中です。

**問** 毛呂山町の将来を大きく左右する政策で、次年度から実行しなければならぬ政策なのに、未だ政策がまとまっていないのは遅いのではないのか！非常に不安である。最終的には町長の判断になるがどう考えているのか。

**答** 担当課が今しつかりと進めている。都度説明をしながら進めて行きたい。

**問** 川角駅周辺整備に對し次年度はどの様に進めるのか。

**答** 令和2年度中の駅舎移設工事の着工を目指して事業を進めております。

**問** 旧デイサービスセンターは現在何も使用していないが、もし借り手が居たら貸し出しが出来るのか。

**答** 地方公共団体や公共的団体に公用、公共用、公益事業に限定されており、民間への貸し出しは難しい。



次年度からの着工を目指す川角駅周辺整備



## 台風19号被害と今後の対策は

### 【図】課題を検証、研究していきます



牧瀬 明

が懸念されます。今後、各種防災訓練、自主防災組織充足による地域防災力の強化を図り、今回の災害で把握した課題を検証、教訓としつつ調査研究してまいります。

**【問】** 今後、今回の台風19号以上の短時間大量豪雨があると考えられます。今後の対策は。

**【答】** 地球温暖化や気象現象の極端化により台風や集中豪雨増大

**【意見】** 今回以上の雨量となれば、被害は更に大きくなります。再び岡本団地など住家への水害が生じない早急な対策が必要です。IPCC 国連機関で気候変

動政府間パネルの第五次報告書AR5は「地球温暖化が進む限り、豪雨は増え、工業化以前1870年の産業革命以前からの温度上昇が2℃を超えると、地球規模の気候変動が回復不能となる」と警告しています。現在は1℃上昇しています。これを受けてCOP21(2015年パリ)は、化石燃料を使わない、脱炭素社会を構築する合意をしたのですが、温室効果ガスをどの程度削減すればよいかの科学的知見が不十分としたため、IPCCは2018年10月に、「1.5℃特別報告書」を発表しました。

これを受けて世界各国はCO<sub>2</sub>削減を、1990年比で2030年に40%にすることで動き出します。しかし日本の目標は18%で、今後も29の石炭火力発電所建設を計画しておりG7の中でも日本だけ世界の動きに逆行しています。

水害対策はエネルギー源を再生可能エネルギーに切り換えることが最善策であると考えます。

## 川角駅・駅舎移設は地域にとって重要課題

### 【図】今期中に説明会を開催



堀江 快治

**【問】** 川角駅舎の移設・改札口の南側(ホーム下り線)への移設。越生線77年の歴史に馴れ親しんで来た地域住民にとっては、重大な事情だ。早急に説明会を開

催すべき。

**【答】** 駅周辺の混雑解消の事由だが、近隣住民には、通勤・通学などで多大な環境変化を生じる。一日も早く理解を求めます。

**【問】** 事業予算は、各学校の寄付で予定通り賄えるのか。町支出は、適切な支出で済むのか。

**【答】** 総額8億円前後と見込む。城西大学からは、すでに3億5千万円の負担寄付が確定。他

の大学2校・高校1校と交渉中。**【問】** 第5次総合振興計画、後期基本計画と、国の推奨するスマートシティ構想との整合性。

**【答】** スマートシティ構想とは「先端技術を活用して、少子化・高齢化・財政硬直化など、地域課題を解決する新しい町づくり。我国代表的企業の参加」

**【問】** 策定中の後期基本計画は、今後5年間、町運営の柱であり併せて重要課題解決の為、スマートシティ構想も、重要な位置づけとなる。

**【答】** 今年度、国土交通省のプレゼンテーションで、全国15のモ

デル自治体に推薦された。厳しい要求もあると考察されるが、町は、現有能力人材で、対応出来るのか。

**【答】** すべて、職員努力の結果であり、更に英知の向上に努め対応していく。

**【問】** 葛貫地内町道第3984号(新飯能寄居線より、最短で鎌北湖方面への道)路線の改良工事について。平成27年・28年で、945万3千円の測量、物件調査が実施済みだが。

**【答】** 地権者の都合や、補償費の増大で遅延している。



町民意見を取り入れ駅舎移設を進めるべき



国連気候変動枠組条約締約国会議

## 台風19号による災害対応と今後の災害対策

### 図 様々な被害を想定し、災害対策を講じる



神山 和之

会を設けたかお伺いします。

問 各地区との意見交換会は実施していない。

意見 検証とは、災害にあった地区等を中心に意見を求め、その意見を町民に周知し今後の災害の軽減を図ることが重要。引き続きお願いし意見にとどめる。

問 台風19号に伴う災害検証を被害を受けた地区の町民又河川周辺の居住者に災害対応、町行政等に対する要望、課題等について、町民からご意見を頂く機会

問 災害対策本部設置に伴い災害指定病院、埼玉医科大学災害医師コーディネーターに事前に連

絡し協力依頼したかお伺いします。

問 大きな怪我人は、発生していなかったたので連絡していない。

意見 避難所に怪我人はいなかったとしても、持病をお持ちの人もいる。高齢者、要支援者の立場に立つて、町民の目線で災害時の協力が必要である。

問 防災行政無線が聞こえないと町民から苦情を頂いているが本町もデジタル化に伴い莫大な費用で整備しているが、事前に納入業者から、改善策等、これらの対策について話はあったか。

問 戸別受信機の協議はその時では、無かったと聞いています。

要望 避難準備行動発令に伴い高齢者等、お身体のご不自由な人は独歩で避難所まで行くのが困難である。

町は自主防災だけに頼ることなく積極的な避難介助を進めること。更に要支援者名簿の同意等早急に行い、道路冠水についても、旭台地区は40年から少しも変わっていない。町は以前、土側溝を掘ったが、改善されていない。近くに住宅もあり、又光山小学校も避難所に指定されているが、車も通行困難。早急な改善を要望する。

## 幹線道路整備の陳情について

### 図 町づくりに関するメリットを調査分析し町に要望していきます



村田忠次郎

問 幹線道路整備に向けての陳情活動は今後どのように進めていくお考えなのか。

問 県との意見交換の中で、道路事情に鑑み、医大へのアクセス

スや経済効果、観光施策、町民満足度、企業誘致、雇用の創出等、本町に都市計画道路が出来た場合のメリットを調査分析して、埼玉県に要望していきます。

問 新たな道路整備の在り方を構築していくためにも、行政、町民、議会「オール毛呂山」での要望活動が必要ではないか。

問 埼玉県と協議をし整備効果等を確認していく中で、要望活

動の仕方とも検討して参ります。

未就学児を守る

キッズゾーンの実現について

問 大津市が全国に先駆けてモデル的に導入したキッズゾーン。町として導入する考えは。

問 6月に実施した「保育所等が行う散歩等の園外活動に関する緊急安全点検」の結果、スピードが出ている。道路が狭い。ガードレール、信号、横断歩道が無い箇所の報告があり、まちづくり整備課、西入間警察署へ報告した。再検証し、関係部署と調整を図りながらキッズゾーン設定について検討して参ります。

納税率の向上について

問 納税率の向上にむけて働きかけを行っているか。

問 アプリを活用した収納サービスを開始したほか広報に特集記事を掲載する等、啓発を行っている。

問 決算書を見ると滞納額が高額である。対策は。

問 差し押さえを実施して自主納付を促すという事があります。税務課の取組により、差し押さえ件数が前年度よりも167件増えて464件となった。さらに職員増などを検討したい。



待ち望まれる幹線道路(写真は飯能寄居線)



台風19号による苦林地内越辺川堤防越水状況



## 川角地区周辺整備事業の進捗状況は

**【問】** 地権者の85%、各学校からは協力したいと回答があった



高橋 達夫

**【問】** 本年度予算では川角駅周辺整備事業に対し1億1千2百万6千円が計上されているが、城西大学以外の3校からの寄付や地権者交渉等の進捗状況は。

**【答】** 城西大以外の3校も事業に協力したいと回答を頂いている。地権者交渉の進捗状況は、概ねご理解頂けたと考えており、契約に向けて準備を進めている。  
**【問】** 城西大学からは3億5千万円の寄付をして頂く約束だが、残りの1億5千万円はいつ町に入るのか。また他の3校も同じように駅利用の生徒数割で寄付に協力してくれと言う回答か。

**【答】** 残り令和2年の6月頃になると思う。他の3校はそのような考えもあるがそれぞれの学校で検討していただいている。

**【問】** 概ねご理解頂いたとは地権者の何%位のことか。

**【答】** 85%の地権者に理解頂けた。

**【問】** 道路整備について

**【問】** 町内各地域の道路の傷みが目立つが、公共施設整備等総合計画では、インフラ資産である道路の更新年数を15年と試算し、平成22年〜平成26年の5年間で年平均では1億6千4百14万6千円の更新工事を行っているが本年度の道路整備予算は約1億

円近く減額し、約6千7百万円である。理由は何か。

**【答】** 前年度からの繰越分を合わせると道路整備関連予算は約2億3百万円となり例年と比較して遜色ないと考えている。

**【意見】** 地方自治法208条

で町の予算は会計年度独立の原則から成っている。昨年度の繰越分と合わせ同じと言う答弁は理解できない。  
**【問】** 町には老朽化した町道舗装の整備計画はあるのか。  
**【答】** 現在アスファルト舗装整備計画は未策定である。

## 水防団は水害の要現場も守れ！

**【問】** 検討する



下田 泰章

**【問】** 台風19号の災害対応に際し水防団は約12時間の活動を強いられた。町職員一人当たりの災害対応手当の支給額、水防団出動手当の支給額について伺う。

**【答】** 職員の手当は1時間あたり2500円。水防団は1回の出勤で2000円である。

**【問】** 一部避難所においてテレビ等の情報提供機器がなく、町民からご指摘を頂いているとの事。また、水防団の活動拠点である詰所にもテレビはなく情報の取得は個人のスマートフォン。この状況をどう思うのか。

**【答】** 西入間広域消防組合と協議

し、各詰所にケーブルテレビの加入について検討している。

**【意見】** 異常気象の影響により、

近年毎年のように水防団に出勤要請が強いられている。苦林浄水場の危機的状況を救ったのは4分団員の懸命な排水作業の賜物である。彼らの活動がなければ水と言うライフラインは守られていかなかった。町民の生命と財産を守る崇高な使命感を持つ水防団の待遇改善を求む。

**【問】** 10年後の毛呂山町はどうなる

**【答】** 将来の公共施設計画案が示されたが、学校施設以外はほぼ継続案である。同時に川角駅短

期整備事業計画も示されたが予算の目途が立っていない。逼迫した財産状況であるが故に、将来の公共施設維持に対し統合や廃止と言った厳しい案を示し、駅周辺整備事業の予算を確保するのが必然である。事業を達成するには各課が連携を図り将来を見据えた計画でなければ次世代にツケを残す。予算の目途が立っていない状況でなぜ短期的整備計画が示せるのか。

**【答】** 優先順位の高い事業の為、予定期間内で実施する。



このポンプが水没していたら…



横断が危険な川角駅前踏切りの現況

# 表彰

埼玉県知事表彰

高橋 達夫 議員

毛呂山町特別有功表彰

人間郡町村議会議長会表彰

岡野 勉 議員



# 人事

教育委員会教育長

粟田 博 氏

昭和24年生

毛呂山町大類

監査委員

行平 克也 氏

昭和30年生

毛呂山町大谷木

皆さんの生活に  
関係する構成組合を  
紹介します。

## 埼玉西部環境保全組合

組合の構成は、鶴ヶ島市、毛呂山町、鳩山町及び越生町の1市3町(構成人口は13万人)。家庭及び事業系から排出される一般廃棄物を共同処理するために設立された一部事務組合です。

主に高倉クリーンセンターで可燃ゴミを取扱い、川角リサイクルプラザでは、資源物、燃やせないごみ、不燃性粗大ごみを資源化しています。稼働の開始は、高倉クリーンセンターが平成7年、川角リサイクルプラ

ザが平成13年。どちらも地元と約束の操業期間を経過、老朽化が進行し長寿命化や延命工事が行われていています。

現在、可燃ゴミの焼却を行う新しい施設、(仮称)鳩山新ごみ焼却施設の建設事業に取り組んでいます。11月24日には、建設工事の起工式が現場の鳩山町泉井、熊井で行われました。なお、総建設事業費は約130億円を要し、完成は2022年9月予定です。これを機に、ゴミの減量化や地球温暖化対策の前進が期待されます。

組合議会議員の定数は15名で、毛呂山町より堀江快治、長瀬衛、岡野勉、村田忠次郎の4名の議員が選出されています。また、越生町3名、鳩山町3名、鶴ヶ島市5名の議員が各市町から選出され構成されています。

(仮称)鳩山新ごみ焼却施設 完成予定図



## 傍聴席

### 12月定例会傍聴者数

本会議日	傍聴者数
12月 2日(月)	1名
12月 3日(火)	10名
12月 4日(水)	14名
12月 5日(木)	38名
12月 6日(金)	11名
合計	74名

## あとかぎ

町民の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は令和天皇が御即位され、新たな令和時代の幕開けとなりました。町民の皆様も明日への希望と夢そして、新たな決意と抱負を胸に抱き奉祝したことで、ご推察いたします。

また、昨年は東日本を中心に自然災害による甚大な被害が発生しました。中でも台風19号は、本町においても河川が越水、床上・床下浸水が発生し、多くの町民の皆様が避難を余儀なくされました。

この自然災害は、地球温暖化の影響等により、本町も毎年大きな台風等に直面する危険性もあります。

災害は、予測困難ではありますが、常に我が身に起こりうることを考え事前の心構えと備えが必要であります。

議会としても、皆様の安寧保持のため、災害に強いまちづくりを推進すると共に、皆様の負託に応えて参りますので、より一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

(神山 和之)

## 編集委員

- |        |       |
|--------|-------|
| 委員長    | 下田 泰章 |
| 副委員長   | 荒木かおる |
| 委員     | 神山 和之 |
| 〃      | 澤田 巖  |
| 〃      | 佐藤 秀樹 |
| 〃      | 千葉三津子 |
| アドバイザー |       |
| (議長)   | 長瀬 衛  |